

チユプカの

森から

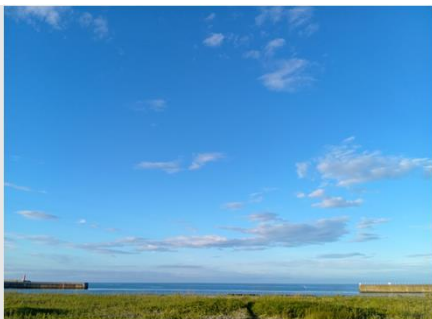
44号

チユプカはアイヌ語で「東」
「東」といえば、根釧東部森林管理署だよ



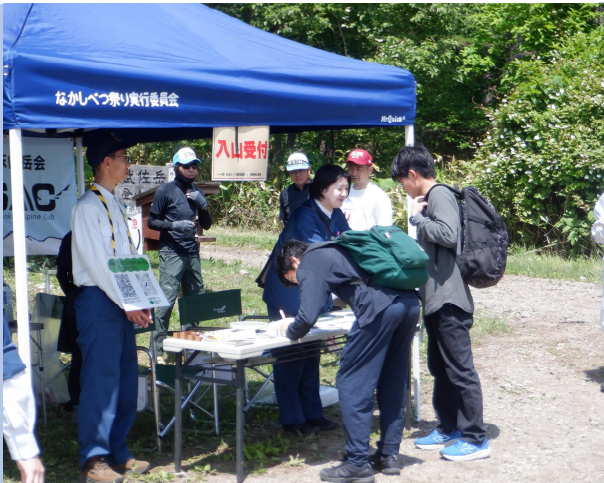
過去の号は
こちらから→

【今月のお便り】(岡本(美))



6月某日 晴
私が住んでいる標津町は海沿いであり、春から夏にかけては霧がかかる日も多く肌寒い日が続きます。今年6月でもまだ冬物を着る日があったり、ストーブを使う日もありました。それでも例年7〜8月は暑くなり30度を超える日もあります。夏が待ち遠しいです。

【武佐岳山開き】



6月14日(日)、中標津町の武佐岳で山開きが開催され当署から4名が参加しました。

当日は朝方こそ曇っていたものの、午前中には青空が広がる登山日和となり、約200名の登山者がそれぞれペースで山を堪能していました。

山開き受付では、当署による登山マナーの豆本『鳥獣登山戯画』配布、中標津警察署によるクマスプレー体験、主催である観光協会からのプレゼント等、各種取組が行われました。



【豊かな森を未来へ】

6月6日(土曜日)

別海町にて、北海道民有林保護事業推進対策協議会主催の「野ネズミ予察調査と防除方法」現地研修会に参加しました。国有林では毎年、野鼠(野ネズミ)の生育調査を行っており、樹木に被害を与えるネズミを見分ける必要があります。野鼠生育調査の効果的な方法や、野鼠の見分け方などを学びました。



当署と中標津町との共催による「中標津町植樹祭」が開催され、当署からも職員が参加しました。森林環境譲与税を活用して実施されている当植樹祭ですが、今年度は225名が参加し、トドマツの苗1800本を植樹しました。昨年度の植樹地も観察でき、将来に向けた芽が育っていることを確認できました。



【野ネズミの見分け方】

6月12日(金曜日)



関係機関とともに、羅白湖歩道整備を行いました。

昨年は草刈が十分にできなかったため、ササが伸びている箇所が多かったです。今年は足元がしっかりと見えるように木道から出ているササを刈り取りました。時間があてはげきれない風景を見に来てください。



【羅白湖の歩道整備】

6月30日(火曜日)



二湖木道